

# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【柏崎小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	全体的には、基礎・基本的な知識・技能の力の定着が図れてきた。令和3年度より向上傾向が続いている。全校一斉にスキルタイムを実施することで、ドリルなどの反復練習する時間を確保してきた。しかしながら、「朝の状態の入力」や「ICTスキルタイム」の増設など、新しい方策に時間を確保する必要が生じるなど、さらにカリキュラムマネジメントの工夫が必要になってきている。
思考・判断・表現	全体的には、基礎・基本的な思考・判断・表現の力の定着が図れてきた。令和3年度より向上傾向が続いている。さいたま市『アクティブラーニング』型授業を意識して取り組んできた。学校課題研究とも絡め、グループでコミュニケーションを取りながら、協動的に課題を解決することで、思考力を高めていく取組を行ってきた。次年度も継続していきたい。
主体的に学習に取り組む態度	各教科で導入の工夫を行い、主体的に学ぶための「なぜ」「どうして」「もっと知りたい」「やってみよう」というような仕掛けを実施することで、意欲を高めることができた。来年度は学校課題研究の内容に「ルーブリック評価」を取り入れ、自ら目標と取り組み方を考え、仲間と協働しながら学習を進める方式を取り入れ、主体的に学習に取り組む態度を養っていく。

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	令和4年度全国学力・学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「知識・技能」において、3pt向上させる。令和4年度さいたま市学力・学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「知識・技能」において、3pt向上させる。	⇒ 業前の時間に、週1回以上「スキルタイム」を設定。カリキュラム・マネジメントにより、基礎的な知識や技能を習得する学習時間を確保する。
思考・判断・表現	令和4年度全国学力・学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「思考・判断・表現」において、3pt向上させる。令和4年度さいたま市学力・学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「思考・判断・表現」において、3pt向上させる。	⇒ さいたま市『アクティブラーニング』型授業の実現に向けた授業改善として、どの教科でも協動的な学びを充実させる。学校課題研修と絡め、視点と手立てを持ち、改善させる。
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査「学びに向かう力等」の質問項目における、「国・算・社・理」の「各教科の勉強は好きですか」の項目で前年度を3pt上回る。	⇒ 各教科で導入の工夫を行い、主体的に学ぶための原動力である「なぜ」「どうして」「もっと知りたい」「やってみよう」というような仕掛けを実施する。

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	令和5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、令和4年度と同結果と比較し、国語は+18pt、算数+8ptであった。令和5年度さいたま市学力・学習調査の「知識・技能」において、令和4年度と同結果と比較し、国語は小3-15.4pt小4-8.9pt小5+6.1pt小6-6.4ptであった。算数は小3-4.1pt小4+14.3pt小5+0.3pt小6-1.6ptであった。	B
思考・判断・表現	令和5年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、令和4年度と同結果と比較し、国語は+8.5pt算数は+8.5ptであった。令和5年度さいたま市学力・学習調査の「知識・技能」において、令和4年度と同結果と比較し、国語は小3+8.9pt小4+26.8pt小5+1.9pt小6-3.5ptであった。算数は小3+0.2pt小4-2.8pt小5+5.7pt小6-3.2ptであった。	A
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査の質問項目における、「国・算・社・理」の「各教科の勉強は好きですか」の項目では、令和4年度と比較し、国語小3-2.1pt小4+2.9pt小5+19pt小6+1.6pt、算数小3-10pt小4+20.5pt小5-1.3pt小6-1.5pt社会小3-10.7pt小4-2.8pt小5-25.3pt小6-8.5pt、理科小3+10.7pt小4-3.5pt小5-10.5pt小6-2.1ptであった。	B

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語+18pt、算数+5ptであった。国語の同音異句を答える問題にて、言葉の意味を正しく理解しながら、適切な答えを導く問題にて、正答率が低く、無解答率が多かった。
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語+6pt、算数+8ptであった。算数の2つのグラフを読み解き、比較して答える問題にて正答率が低く無解答率が多かった。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査「国語・算数の勉強は好きですか」の質問項目の、肯定的な回答の割合は、国語で+2.1pt、算数で+9pt上回っていた。より一層、子ども興味を引き出す導入となるような授業改善に努める。

①結果分析(管理職・学年主任等)

②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析 ※令和5年度のさいたま市学習状況調査結果は参考値扱いとなります。			
小3	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より国語-15.2pt、算数-4.1ptであった。国語の同音意義語の問題において課題がみられた。算数では、かけ算の筆算に課題があった。教科への興味関心については、国語が75%64.3%であり、算数にやや低い傾向が見られた。	小4	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より国語-9.4pt、算数+14.3ptであった。国語においては、主語と述語などの文法に課題があった。教科の興味関心については、国語は81.8%・算数は75.8%と、両教科とも肯定的な回答の割合が上昇していた。
小5	国語では「必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと」の中心を捉え、自分の考えをもつこと」に課題がみられた。昨年度課題がみられた漢字を正しく使う問題では、類似問題の経年での比較より、正答率の上昇がみられた。引き続き、漢字の意味を考える活動を大切にしてい	小6	算数では、「円グラフに表されている事柄を読み取ること」に課題が見られた。算数の教科だけでなく、社会や家庭科の資料の読み取りなど、他教科や普段の生活でも意識してグラフを読み取ることを心掛けていく。

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし



